



令和6年度 妙円寺小学校だより

たえ きずな 妙なる絆

新春号

児童数454人 職員40人 TEL273-1822 令和7年1月8日発行

令和7年(2025年)の幕開けにあたり 【宝物の子供たちのために】

校長 有村 恵

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。穏やかな年の瀬から心静かな新年の幕開けとなりました。

さて、節目とは実に妙なるものです。12月までを一区切りとし、そして、カレンダーを新しくすると新しい年が始まります。当然のことですが、1月から2月にカレンダーをめくっても新年とはなりません。同じ1日スタートでも、1月1日のスタートは特別ですし、同じ朝日でも1月1日の朝日は「初日の出」と言われるように特別な日の出です。

人は、有史以来、太陽の運行によって暦を作り、そこに区切りを見出しました。そして、始まりと終わりを決めました。この初めの日を日本では元日と言っています。そしてこの日に「今年も一年、良いことがありますように。」と心から願います。

私も願いました。「今年も一年、妙円寺小学校の子供たちにとって良いことがたくさんありますように。」と。この年になると願うことは大切なことであると実感することが多いものです。よく「思ったとおりになる。願ったとおりになる。」と言われます。願うことは、「そうありたい。そうあってほしい。」と心底思うから願うわけですので、実現の初めの一歩です。少し悲観的なことを言いますと、「必ずしも思ったとおりにばかりになるわけでもない。」ということを知ることありますが、私は、それでも「願わずにはられませんし、思わずにはられません。」だから、心穏やかに、心素直に、心の底から願います。そうすると何だかうまくいくような気がします。うまくやれるような気がします。力が湧いてきます。実に不思議なものです。

始業式で子供たちに「一年の計は元旦にあり」という話をしました。願う次には、計画です。計画倒れになってもいいと思います。計画を立てることが大切です。大きな計画でもいいですし、小さな計画でもいいです。計画を立てることこそ大切なことです。私も、私なりに「妙円寺小学校の幸せ計画」を立てました。どのようにすれば子供たちが楽しく学校に通えるようになるか考えました。簡単にうまくいくことはないでしょう。でも、先に述べましたように、願いましたので、計画を立てました。計画は、変更しながら進めていきます。試行錯誤の繰り返しに違いありません。

でも、最後は願ったとおりになれるよう職員一丸となって「チーム妙円寺小」で頑張っていきます。今年も、保護者の皆様の協力が何よりです。最後には、きっと私の願ったとおりになっているはずです。今年も宝物の子供たちのために精一杯頑張っていきたいと思えます。